

GIGAスクール構想のもとでの中学校音楽科, 高等学校芸術科音楽の指導について

GIGAスクール構想のもとでの中学校音楽科, 高等学校芸術科音楽の指導においてICTを活用する際のポイント

音楽科, 芸術科音楽におけるICT活用の利点

- 聴覚だけでなく、視覚などの他の感覚を働かせて音や音楽を捉えながら、音楽表現を創意工夫したり、音楽を聴き深めたりすることができる。
- 創作の学習において、つくった音楽を記録したり、実際の音で表したりすることが容易にでき、創作表現を創意工夫する活動に集中することができる。
- 自分たちの演奏や作品を録音や録画で残すなど学習履歴を蓄積し、学習の振り返りや学習成果の確認に生かすことができる。

音楽科, 芸術科音楽におけるICT活用の際の留意点

- ▼どの学習活動での活用が効果的か、活用場面を精選する。
 - ◎生徒の思考を活性化させたり、創意工夫を促進したりする場面で活用する工夫が必要
- ▼ICT端末を操作することが活動の目的にならないように留意する。
 - ◎指導のねらいを明確にした上で、適切かつ効果的に活用することが重要

GIGAスクール構想のもとでの中学校音楽科、 高等学校芸術科音楽の指導においてICTを活用する際のポイント

音楽科，芸術科音楽におけるICT活用の例

【表現】

- ・自分の歌唱や演奏を録音・録画し，それを再生しながら，表したい音楽表現への見通しをもったり，技能の習得過程を確認したりする。
- ・音を可視化するソフトを活用して，音高や音量，アーティキュレーションなどを確認し，表したい音楽表現を創意工夫するための修正の方向性をもつ。
- ・インターネットを活用して，曲の背景などについての知識を得ながら，歌唱・器楽で表現するための思いや意図（表現意図）を深める。
- ・音楽制作ソフトなどを利用して，音の連ね方や重ね方を即興的に試しながら音楽をついたり，音色を様々に変化させながら，表したい音楽のイメージを豊かにしたりする。
- ・つくった音楽を再生して音で確認しながら，創作表現を創意工夫したり，ペアやグループで感想やアドバイスを伝え合いながら，つくった作品を修正したり，さらに工夫を重ねたりする。

【鑑賞】

- ・クラウドに保存された演奏の音源や画像を，自分が視聴したい部分を取り出して繰り返し聴きながら，音楽を形づくっている要素の知覚やその働きの感受を深める。
- ・作品の背景となる文化・歴史，他の芸術との関わりについて考える際に必要な情報をインターネットで検索し，作品に対する理解を深める。
- ・同じ作品を異なる楽器や異なる演奏家による演奏で聴き比べ，音楽表現の共通性や固有性について考えながら，よさや美しさを味わって聴く活動につなげる。